

まちの先生講座 拡張型講座企画書

講師名 久下宗光



講師紹介（自己紹介）

裏千家正教授、淡交会特別師範、学校茶道連絡協議会、
UIA 会員、入間市茶道連盟会員、入間市国際交流協会会員、
市内中学校盆点前指導、西武公民館茶道サークル指導

講座名 茶道の世界 シリーズ 11 初歩の裏千家茶道

PRポイント（受講を希望する方に分かりやすくご記入ください）

1 回から 5 回まで講義と実技、6 回目は茶会

講義 茶道の成り立ち（茶の伝来から現代まで学習）

実技 自分でお茶を点てることができる。客としての心得を学ぶ。

講座内容（教えていただく内容、スケジュール等 具体的にお書きください）

【1回目】

講義 茶の伝来（奈良時代-平安時代）

実技 茶席の持ち物（帛紗、扇子、懐紙、菓子切、帛紗ばさみ）

立ち居振る舞い（座り方、立ち方、歩き方、お辞儀の仕方-真行草、襖の開閉）

席入 床の間-掛物、花、花入拝見。道具置-瓶掛、鉄瓶/蓋をきっておく拝見。

菓子の頂き方。お茶（薄茶）の頂き方-自分で茶を点てる。

【2回目】

講義 茶の普及（平安時代末-鎌倉時代）

実技 帛紗の懐中の仕方、付け方、捌き方、棗の清め方、茶杓の清め方、
菓子を頂き自分で茶を点てる。

盆-30センチほどの丸盆で縁の高くないもの用意。

【3回目】

講義 茶道の始まり（室町時代）

実技 茶筌通し、茶巾のたたみ方、茶碗の清め方、

棗より茶を二杓掬って茶碗に入れ、茶杓を茶碗の縁で軽く打ち、茶を
払います。菓子を頂き自分で茶を点てる。

【4回目】

講義 茶道の成立（安土桃山時代）

実技 棗-茶を掃いておく 茶碗-茶巾、茶筌、茶杓を仕組む

盆の向こう正面に棗、手前正面に茶碗を用意する。

別に、建水用意。菓子を頂き自分で茶を点てる。

【5回目】

講義 千家の成立とその後の茶道(安土桃山時代-現代)

実技 帛紗捌き、棗清め盆の上左、茶杓清め右手前、茶筴は棗の右、茶巾を盆中右横に置き、帛紗で鉄瓶の蓋閉める。帛紗右手に持ったまま、左手で鉄瓶持ち帛紗で蓋押えて湯をいれ、帛紗盆の左縁にかけ茶筴通し、湯を建水にあけ茶巾で茶碗清め、茶巾は元のところに戻す。茶杓持ち[お菓子をどうぞ]棗左手で取り、茶杓握り込み蓋を取り茶杓あとに置く、二杓すくい縁で軽く打ち茶を払う。湯を入れて茶を点てる。

茶碗二度ほど手前に回し、正面が客に向くように正し定座に出します。

客の[お点前頂戴いたします]の挨拶を受けます。

干菓子の頂き方を学ぶ

【6回目】

亭主と客を交互に行う。

亭主-菓子を客に運び一礼、盆略点前にて茶を点てる

客-菓子を味わい、心のこもった一服を頂戴しましょう。

(後半の片付け部分、柄杓による点前を希望される方は要相談。)

受講者に持参してもらう物

お持ちの方は帛紗、扇子、懐紙、菓子切

その他(使用する教材など)

掛物、花、花入、鉄瓶、瓶掛け、山道盆、棗、茶杓、茶筴、茶巾、建水、スクリーン、プロジェクター、パソコン